








<div style="text-align: center;">東新工業(株) 殿</div>		発行日： 2018年12月21日		
		整理No： 50F-12-004		
協力工場 不良品連絡書				
再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。		承認	調査	担当
				
指定回答日： 2018年12月28日				
仕様番号	G-110339	不良内容 つなぎ表示不具合 (現品票はつなぎ1箇所が表示だが、実際には2箇所つなぎがあった。)		
品名	BB35L-PLT50AA3-550E-DLF			
金型番号	P6560			
ロットNo	181012.1.A.0085			
連絡受理日	2018/12/03			
対象数量	36,000個			
1. 確認内容		返却品の処置(数量明記)		
加工履歴より対象リールはプロテクター変形で保留となり処置した記録がございました。処置をした際にカット数が1つ増え、素材からのカット数1と合わせカット数2となるべきところ現品管理表のカット数訂正をしておりますませんでした。写真でご連絡頂いた現品票内繋ぎ数と調査結果の数量と相違している事を確認致しました。				
2. 発生原因		4. 流出原因		
不具合部分を除去した作業者と処置を完了させた作業者が異なり、除去した作業はカット2となる事を口頭で告げたが、完了処置させた作業者は伝えられた事を忘れてしまいカット数を訂正する事が漏れてしまいました。		不具合部分を除去した際には、リール上に当社指定のカットシールを貼る事になっていたが除去した作業者はシールを貼る事を忘れてしまった。このため出荷合格処理の際にカットシールと現品票記載の数量が一致していたため流出してしまいました。		
3. 発生防止対策		5. 流出防止対策		
処置を行う作業者が変わる場合には、保留処置記録へ作業の途中経過の履歴を残す事と致します。 保留品処置記録の記入例を作成し上記内容を盛り込みます。 実施日：2019/1/7		保留品処置記録 処置結果欄に不具合部分を除去した旨を記入するようになっておりますがカット発生の有無を除去数量横に記入する事と致します。 保留品処置記録の記入例を作成し上記内容を盛り込みます。 実施日：2019/1/7		
実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日		
在庫品仕掛品の確認		回答日： 2018年12月28日		
在庫品	仕掛品	承認	調査	
0	0	2018/12/28 山崎	2018/12/28 中西	
標準類改訂 (有・無)		承認	調査	
(有・無)				
対策後 19.01.07.1.J.0019~19.01.14.1.L.0015の 計5ロットにおいて、同不具合が無い為有効性有り 判断致します。		承認	確認者	
				

(株) 鈴木

Rev: B SQM-10010-4